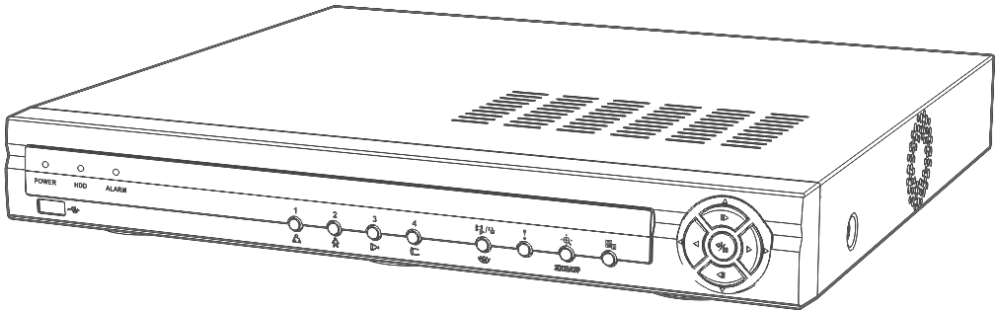
【1】クイックインストレーションガイド

デジタルレコーダー

SDRX-431



このたびは、デジタルレコーダーをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

本書は、主にデジタルレコーダーの設置などについて、解説するクイックインストレーションガイドです。

本製品の取扱説明書は、以下の Web からダウンロードしてご利用ください。

http://www.selco.ne.jp/products/dvr.html

本書とクイックオペレーションガイドおよび取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管してください。

保証書には必ず必要事項を記入してください。

【製品に関するお問い合わせ先】

セルコ株式会社　カスタマサポート室

E-mail：support@selco.ne.jp

TEL：075-501-0070（代表）　FAX：075-592-4275

セルコ株式会社

〒607-8326

京都市山科区川田御出町 14 番地 3

TEL：075-501-0070（代表）　FAX：075-592-4275

AT-439-88

★設置の概要

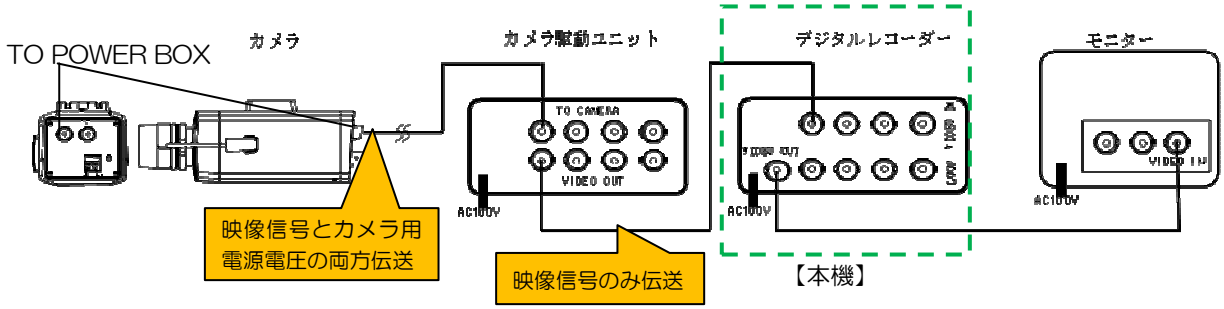
1．アナログカメラの電源供給方式

アナログカメラとデジタルレコーダーの接続には、電源供給方法により、”電源重畳方式”と”電源別送方式”の 2 方式があります。互換はありませんので、環境に応じて正しく設置してください。
ご使用のカメラにより、以下の 3 種類のタイプがあります。

カメラタイプ	弊社製カタログ表記
・電源重畳方式と電源別送方式の両方に対応したカメラ	電源重畳 電源別送
・電源重畳方式専用カメラ	電源重畳
・電源別送方式専用カメラ	電源別送

① 電源重畳方式の概要

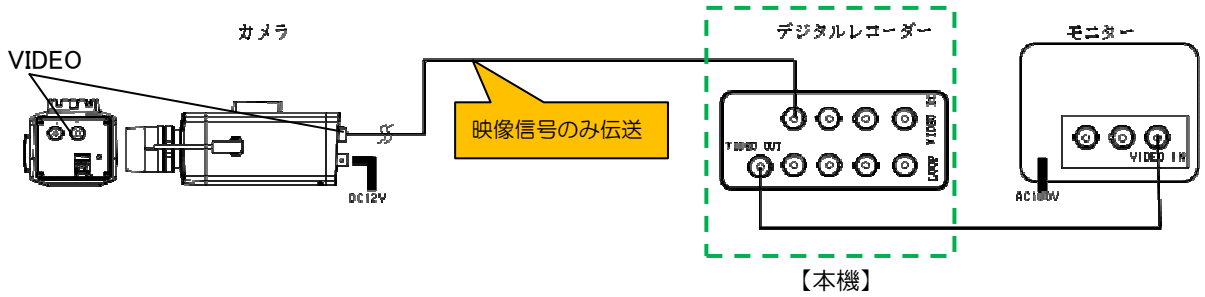
カメラ電源を専用カメラ駆動ユニットから供給します。同軸ケーブル 1 本のみで対応しますので、カメラとカメラ駆動ユニットの間の同軸ケーブルには、電源と映像信号が重畳されて伝送されます。
TO POWER BOX などと表記された[映像信号/電源重畳端子（BNC）]に専用のカメラ駆動ユニットからの同軸ケーブルを接続します。 [電源端子]は使用しません。



【使用上の注意】
- カメラ駆動ユニットからの同軸ケーブルは、必ず”TO POWER BOX”などと表記された電源重畳カメラ端子に接続してください。誤って、”VIDEO”などと表記された映像出力端子に接続すると故障の原因となります。
- 電源重畳と電源別送とは併用しないでください。故障の原因となります。
- 使用するカメラによっては、供給電圧の違いによりカメラ駆動ユニットが異なります。
  誤って接続すると故障の原因になりますので、取扱説明書を参照いただき、正しく接続して下さい。

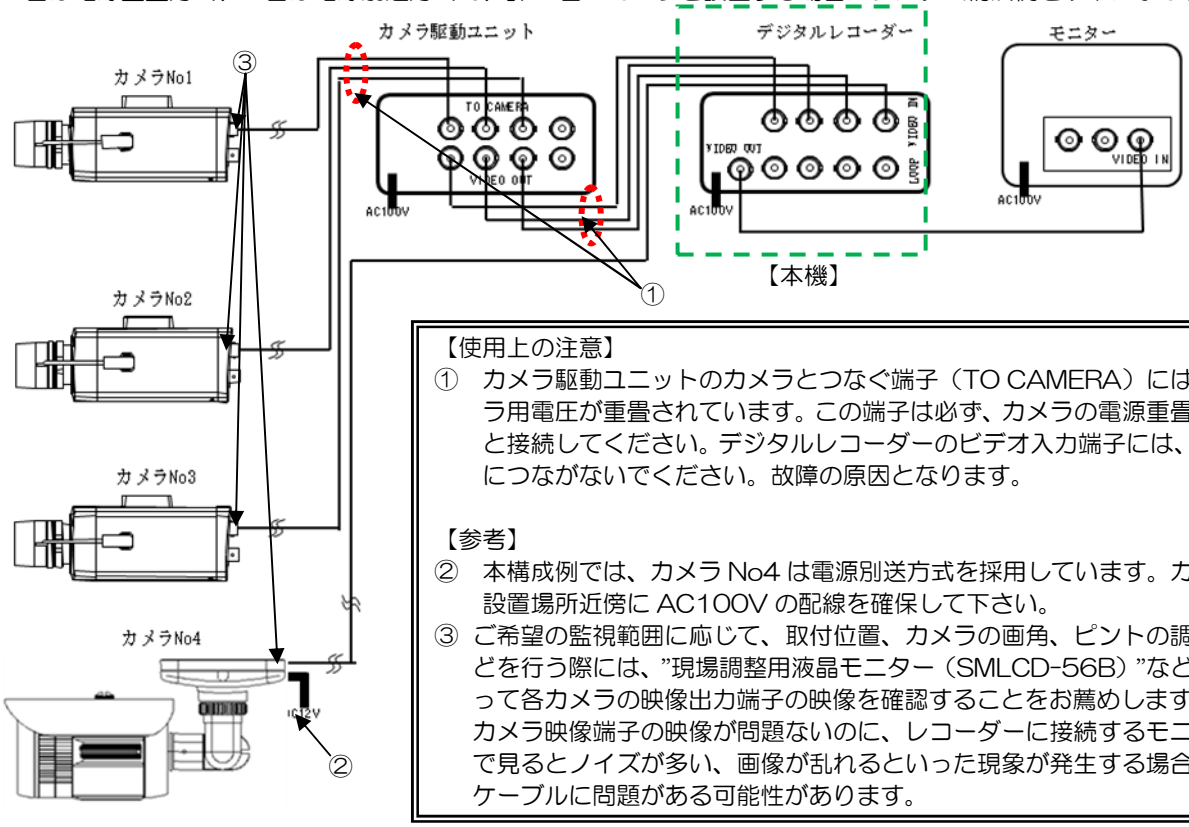
② 電源別送方式の概要

カメラ電源を電源アダプタを使って、供給します。カメラとデジタルレコーダーを直接接続し、この間の同軸ケーブルには、映像信号のみが伝送されます。（カメラ近傍に AC100V 電源の配線が必要です）
VIDEO などと表記された[映像出力端子（BNC）]に同軸ケーブルを接続します。同軸ケーブルからは映像信号が出力されます。
[電源端子]には、各カメラが規定する電源を接続します。（以下の図は、DC12V 時の例）



2．システム構成例

３台は電源重畳方式、１台は電源別送方式で、計４台のカメラを設置する場合のシステム構成例を以下に示します。



【使用上の注意】

① カメラ駆動ユニットのカメラとつなぐ端子（TO CAMERA）にはカメラ用電圧が重畳されています。この端子は必ず、カメラの電源重畳端子と接続してください。デジタルレコーダーのビデオ入力端子には、絶対につながないでください。故障の原因となります。

【参考】

② 本構成例では、カメラ No4 は電源別送方式を採用しています。カメラ設置場所近傍に AC100V の配線を確保して下さい。

③ ご希望の監視範囲に応じて、取付位置、カメラの画角、ピントの調整などを行う際には、”現場調整用液晶モニター（SMLCD-56B）”などを使って各カメラの映像出力端子の映像を確認することをお薦めします。カメラ映像端子の映像が問題ないのに、レコーダーに接続するモニターで見るとノイズが多い、画像が乱れるといった現象が発生する場合は、ケーブルに問題がある可能性があります。

【参考】

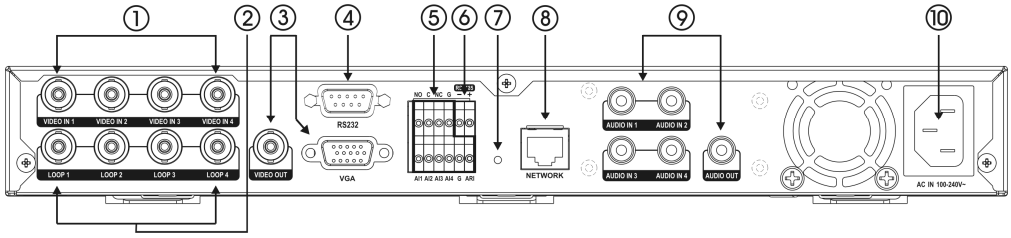
・設置する環境に応じて、カメラ取付用のブラケットなどが必要になります。
　詳しくは、弊社カタログ、各製品に添付の取扱説明書をご参照下さい。

★設置方法

1． 各部の名称と説明

1）背面パネル

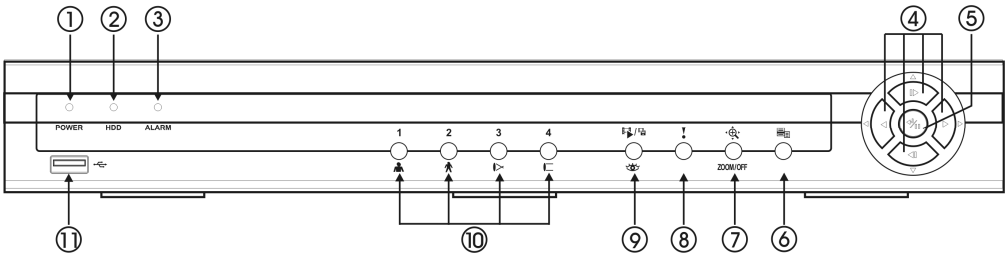
背面パネルの端子配置と機能概要を以下に示します。



	名称	説明
①	ビデオ入力	BNC コネクターのカメラ入力端子です。 【注意】 電源重畳方式の場合、誤ってカメラ側へ接続するケーブルを接続しないでください。故障の原因となります。
②	ループスルー出力	ビデオ入力のループスルー出力端子です。 【参考】 ループスルーコネクターは自動的に終端します。終端されていないケーブルを接続するとビデオの画質が低下するため、その場合はケーブルをループスルーに接続しないでください。
③	ビデオ出力	メイン出力（BNC コネクター）：メイン映像出力端子です。 VGA 出力（ミニ D-SUB15 ピン）：メイン映像出力端子です。 【参考】 ビデオ出力（BNC と VGA）は同じ映像が出力されます。
④	RS-232C	RS-232C ポートは、PTZ（パン、チルト、ズーム）カメラ、外部機器（電波タイマ、UPS など）を接続できます。
⑤	アラーム入力/出力	外部装置を利用して、イベントが発生した場合にデジタルレコーダーが反応するように信号を送ることができます。
⑥	RS-485	RS-485 ポートは、PTZ（パン、チルト、ズーム）カメラ、外部機器（電波タイマなど）を接続できます。 外部機器の RX+ / TX+を本機の 485+に、、RX- / TX-を本機の 485-に接続します。 外部機器 → 本機（デジタルレコーダー） RX- / TX- → 485- RX+ / TX+ → 485+ 合わせて、PTZカメラの取扱説明書を参照してください。
⑦	ファクトリーリセットスイッチ	装置背面のアラーム出力コネクターの左側にあるファクトリーリセットスイッチは、デジタルレコーダーを工場出荷時の初期設定に戻す場合にのみ使用します。
⑧	ネットワークポート	LAN、WANなど遠隔監視を行うためのネットワークポートです。 10/100Mbps イーサネットを利用してネットワークに接続できます。デジタルレコーダーのネットワークポートに RJ-45 プラグ付の LAN ケーブルを接続します。デジタルレコーダーはコンピュータとネットワーク上で接続され、遠隔監視や遠隔検索、遠隔制御や遠隔ソフトウェアップグレードができます。
⑨	オーディオ入力 / 出力	音声入力（RCA）の接続端子です。 【参考】 本機にはオーディオ出力アンプがないため、アンプとスピーカーを準備してください。オーディオ入力は複数のソースを接続できますが、内蔵アンプのないマイクの場合、直接接続すると正常に動作しません。その場合は別途のプリアンプを経てから接続してください。
⑩	電源コネクター	電源コードをデジタルレコーダーと電源コンセントに接続します。この装置には電源スイッチがないので、接続するとすぐに電源が入ります。 【安全上の注意】 正しい電源電圧（交流100V）で使用してください。また配線器具の定格を超えたり、たこ足配線などを行わないでください。 電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください。 電源ケーブルが傷んだ場合は、すぐに使用をやめてください。

2）前面パネルボタン

前面パネルのボタン配置と機能概要を以下に示します。



	ボタン名	説明
①	電源 LED POWER	本機が作動している間、電源 LED が点灯します。
②	ハードディスク LED HDD	ハードディスクに映像を保存するか、保存された映像を検索する場合、ハードディスク LED が点灯します。
③	アラーム LED ALARM	アラーム出力が作動している間、アラーム出力 LED が点灯します。
④	方向ボタン	再生モードで、前面パネルの ◀ ボタン（マウス操作ボタンでは、◀◀）を押すと早戻しします。◀ ボタンを押すたびに再生→早送り（◀◀、◀◀◀、◀◀◀◀）に切替えます。 前面パネルの ▶ ボタン（マウス操作ボタンでは、▶▶）を押すと早送り再生します。▶ ボタンを押すたびに再生→高速再生（▶▶、▶▶▶、▶▶▶▶）に切替えます。 一時停止状態から▶ ボタンを押すとコマ送りを、◀ ボタンを押すとコマ戻しを行います。
⑤	エンター（Enter）/一時停止ボタン	ライブ映像モードで ボタンを押すと一時停止になります。画面上に アイコンが表示されます。 再生モードではこのボタンを押すと一時停止状態になります。 メニュー設定時、項目を選択するか、入力事項を決定する場合に使用します。
⑥	メニューボタン	メニューボタンを押すと、リアルタイム監視メニュー画面が表示されます。 ログイン画面が出る場合は、設定権限のあるユーザーを選択してパスワードを入力します。 ボタンをもう一度押すと、設定画面を終了させます。 再生モードでメニューボタンを押すと、検索メニューを表示します。 ライブ映像モードでメニューボタンを長押し（３秒以上）すると、自動切替（シーケンシャル）表示になります。
⑦	カメラ操作/ズームボタン ZOOM/OFF	ライブ映像モードでカメラ操作 / ズームボタンを押すと、PTZ モードに入り、PTZ モードでボタンを押すと、拡大モードに入ります。拡大モードでボタンを押すと、拡大モードを終了します。 PTZ モードに入ると PTZ カメラが設定されている場合、PTZ カメラを設定するウィンドウが表示され、ここで PTZ カメラを選択すると、方向ボタンかメニューボタンを押して、設定された PTZ カメラを制御します。 拡大するカメラを選択する画面が表示されると、カメラを選択して拡大表示できます。方向ボタンで拡大する画面位置を移動できます。
⑧	緊急録画（パニック）ボタン	緊急録画ボタンを押すと、画面上に アイコンが表示され、現在のスケジュールに関係なく映像を録画します。 ボタンをもう一度押すと、緊急録画モードが終了します。

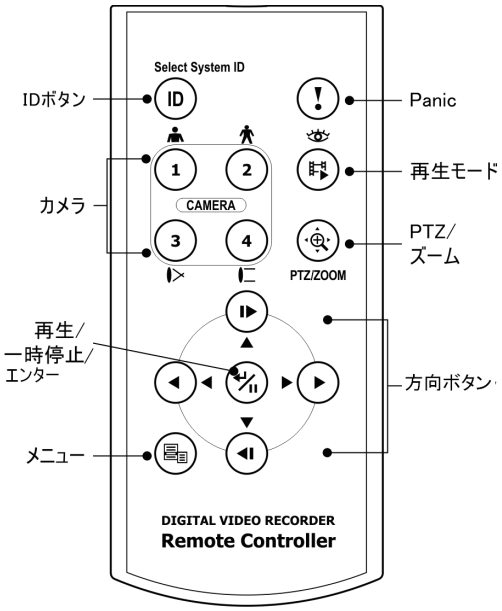
⑨	再生モード/ライブ映像監視モード切替ボタン ▶/II	再生モード/ライブ映像監視モード切替ボタンを押すと、再生モードと監視映像モードを切り替えます。 再生モードに入ると映像は一時停止になり、▶方向ボタンを押すと通常の速度で再生されます。 一時停止状態では画面上に II が、再生状態では ▶ が表示されます。 PTZ モードでは保存されたプリセットに移動するボタンとして使用します。 再生モードで再生モード / バックアップボタンを長押し（3秒以上）すると、クリップコピーを行います。
⑩	カメラ番号ボタン 1 2 3 4	ライブ映像モードや検索モードでカメラ番号ボタンを押すと、該当カメラの映像をフル画面表示します。ボタンをもう一度押すと、4 分割表示画面に切換わります。 パスワードを入力する場合、1～4 までのカメラ番号ボタンを使用して入力できます。 PTZ モードでカメラ番号（1）ボタンは画面拡大ボタンとして、カメラ番号（2）ボタンは画面の縮小ボタンとして、カメラ番号（3）ボタンは近距離焦点ボタンとして、カメラ番号（4）番ボタンは遠距離焦点ボタンとして使用します。
⑪	USB コネクター	USB ポートに USB マウスを接続することができます。 また、USB フラッシュメモリなどへ録画データをバックアップ（クリップコピー）することができます。

【参考】
アラーム解除ボタンはありません。内蔵ブザーが鳴ったり、アラームが動作しているときに前面パネル、またはリモコンのいずれかのボタンを押すと内蔵ブザーを含むアラーム出力を解除できます。
（ログインしていない場合は、ログイン画面が表示されますので、ID、パスワードを入力してログインしてください。）
ただし、設定メニュー、または PTZ モードの状態でアラーム出力を解除する場合は、設定メニューを閉じるか、PTZ モードを終了させてから行います。

【参考】
リモコンの受光部は、本機前面パネルのメニューボタンの右側にあります。
この部分が他のもので覆われないようにしてください。リモコンが正常に動作しない原因となります。

3）リモコンボタン

リモコンのボタン配置と機能概要を以下に示します。



IDボタンを押すと、リモコンの ID を設定することができます。
デジタルレコーダーのユニット ID が 0 の場合は、リモコンの ID を設定しなくても本機を操作することができます。
ユニット ID が 1～4 の場合には、リモコン IDボタンを押してから、1～4 のいずれかの ID 番号を押します。
本機の映像の左下にアイコンが表示されリモコン入力によって本機を制御できます。
複数のシステム ID が 0 の場合、リモコンを操作すると複数台のデジタルレコーダーが同時に制御されます。

【参考】
IDボタン以外のボタンは、前面パネルのボタンと機能は同じです。

※本機は、前面パネル、リモコンに加えて、USB ポートに接続するUSB マウスを使って操作することもできます。

２．配線接続と映像出力確認

「２．システム構成例」（3 ページ）の 4 台のカメラ構成の場合の手順を以下に示します。

① 必要に応じて、アラーム入力/出力やオーディオ入力/出力などの接続をします。

② カメラ No1～No3 はカメラ駆動ユニットの VIDEO OUT 端子と本機の VIDEO IN１～3 を BNC ケーブルで接続します。

③ カメラ No4 は、カメラ設置箇所付近で AC アダプタを使って電源を供給し、カメラからの映像出力を直接、本機の VIDEO IN4 に接続します。

④ 本機のビデオ出力（VIDEO OUT 端子もしくは VGA 端子）を対応するケーブルを使ってモニターのビデオ入力端子に接続します。

⑤ デジタルレコーダーの電源コードを接続します。（電源スイッチはありません。自動的に起動し、録画を開始します）

⑥ 接続していないカメラ入力端子がある為、アラーム音が鳴るので、前面パネルのいずれかのボタンを押して、ログインし、止めてください。
（デフォルト状態は、ユーザー名”admin”、パスワード”なし”となっております）

⑦ 前面パネルの１，２，３，４のカメラ番号ボタンを押して、各カメラの映像（設定した場合、音声も）が正常に表示されることを確認します。

【参考】
- 映像入力のないチャンネルはカメラ使用設定を Off することをお薦めします。再起動時などに映像信号なしと判断され、アラーム音が鳴ります。（参照：クイックオペレーションガイド：3 ページ「カメラ設定」）
- 本機は、電源コードを挿すと自動的に起動し、録画を開始します。録画中に電源コードを抜かないでください。
- 本機を終了するには、メニューボタンを押して、「システム」―「システム終了」を選択します。
（参照：クイックオペレーションガイド：2 ページ「起動／終了」）

★クイックオペレーションガイド、取扱説明書

本機の基本的な操作方法は付属のクイックオペレーションガイドをご参照ください。また、本機でサポートする各種機能、メニュー構成などは、取扱説明書に記載されております。
取扱説明書は、表紙に記載の Web からダウンロードして、お使いください。